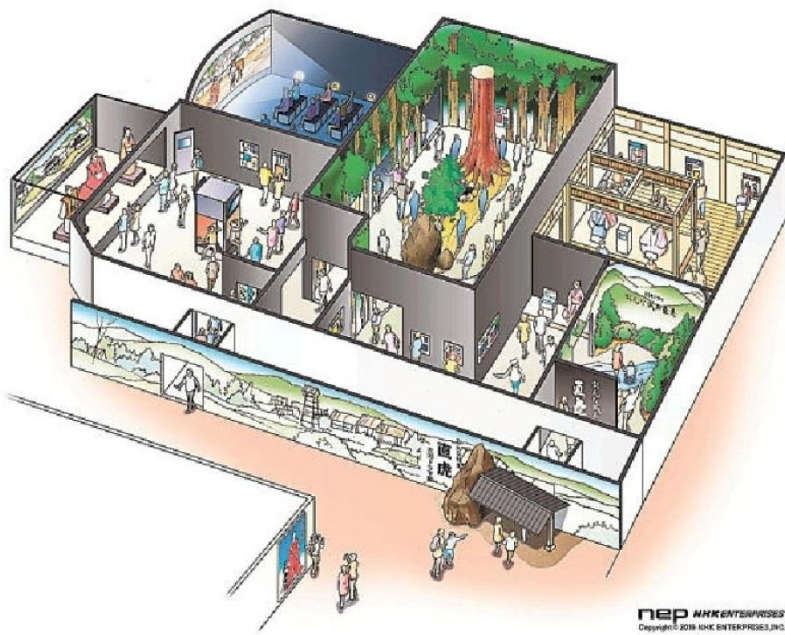


は ま ま つ た い が かん
浜松「大河ドラマ館」



nep HAKKAI ENTERPRISES
 Copyright © 2016 HAKKAI ENTERPRISES, INC.

な お と ら
直虎の世界観 3D体験
 た い け ん

し
市がイメージ図公表
 ず こ う ひ ゃ う

浜松市は21日、同市を舞台にした大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送開始に合わせ、2017年に開館する「大河ドラマ館」の概要とイメージ図イラストを公表した。

大河ドラマ館は、ドラマの世界観を感じること

市によると、展示面積は約450平方メートル。館内は五つのゾーンに分かれる。エントランス部分に門と岩が飾られるほか、「井伊谷井戸端セツト」は、井伊家の初代共保公が生まれたとされる井戸やクスノキの大木など、物語で重要な役割を果たすセツトが再現されるといふ。撮影風景や出演者コメントなどの映像コンテンツを楽しめる「直虎シアター」、スタジオに入り込んだような3D体験ができる「美術の世界」も設置される。

開館は18年1月14日。市は、同市への来訪者の観光の中核を担う施設と位置付け、来館者数50万人を目標に掲げる。予約数は13万枚に上っている。入館料は高校生以上600円（前売り480円）、小中学生300円（同240円）。

2016年11月22日 朝刊

① 浜松市を舞台とした大河ドラマのタイトルは何でしょうか。

[]

② 大河ドラマ館に井戸が再現されるのは、どうしてでしょうか。

[]

③ あなたの住む街で、大河ドラマにして欲しい歴史上の人物は誰ですか。

[]

年 組 名 前

(小学校・中学校 社会・総合)